

注3

大学番号：私368

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

関西外国語大学 英語キャリア学部 英語キャリア学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 関西外国語大学  
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局

職名・氏名 シムキョクチョウ ヨシザキ マコト  
事務局長・吉崎 誠

電話番号 072-805-2801

（夜間） 072-805-2801

F A X 072-805-2862

e-mail ymakoto@kansaiuidai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況、経費	10
4	既設大学等の状況	11
5	教員組織の概要	12
6	留意事項に対する履行状況等	14
7	その他全般的事項	15
8	資料	19

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 関西外国語大学

## (2) 大学名

関西外国語大学

## (3) 大学の位置

〒573-1001  
大阪府枚方市中宮東之町16-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タニモト エイコ) 谷本 榮子 (平成20年10月)		
学長	(タニモト ヨシタカ) 谷本 義高 (平成19年4月)		
学部長			
学科長等	(オカダ ノブオ) 岡田 伸夫 (平成23年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)  
平成26年度に報告する内容 → (26)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
英語キャリア学部 英語キャリア学科 学士(英語キャリア)	4年	120人	— 年次人	480人	
英語キャリア学科 小学校教員コース 学士(教育)	4	30	—	120	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

区分	対象年度 平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120 ( ) [ ]	—	120 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	1.04倍	
志願者数	2,039 ( ) [ ]	—	1,946 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	2,023 ( ) [ ]	—	1,930 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	270 ( ) [ ]	—	292 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	124 ( ) [ ]	—	128 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.03		1.06							

<英語キャリア学部 英語キャリア学科小学校教員コース>

区分	対象年度 平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30 ( ) [ ]	—	30 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	1.06倍	
志願者数	357 ( ) [ ]	—	296 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	349 ( ) [ ]	—	291 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	88 ( ) [ ]	—	88 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	29 ( ) [ ]	—	35 ( ) [ ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.96		1.16							

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( ( ) )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

学年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 124	[ - ] -	[ - ] 132	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ - ] 110	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/		/		/		[ ]	[ ]	
計	[ - ] 124		[ - ] 242		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

<英語キャリア学部 英語キャリア学科小学校教員コース>

学年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 29	[ - ] -	[ - ] 37	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ - ] 26	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/		/		/		[ ]	[ ]	
計	[ - ] 29		[ - ] 63		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	124 人	10 人	平成25年度	10 人	- 人	他の教育機関への入学(5人)、経済的(3人)、学生 個人の心身に関する事情(2人)	8.1 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	128 人	0 人	平成26年度	人	人		0 %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
合 計	252 人	10 人					4.0 %

<英語キャリア学部 英語キャリア学科小学校教員コース>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	29 人	1 人	平成25年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	3.4 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	35 人	0 人	平成26年度	人	人		0 %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
合 計	64 人	1 人					1.6 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門複合科目	LgD:Reading & Writing I (Global Issues I)	1前	2			1	1	1				
	LgD:Reading & Writing II (Global Issues II)	1後	2			1	1	1				
	LgD:Speaking & Listening I (Groups within Societies)	1前	2				2				兼1	
	LgD:Speaking & Listening II (Conflicts within Societies)	1後	2				2				兼1	
	LgD:Argument & Persuasion I (Media Influences)	2前	2			1		4	2			兼1-0
	LgD:Argument & Persuasion II (Presentations)	2後	2			1		4	2			兼1-0
	LgD:Academic English (Cultural Perspectives)	2前	2				2					
	LgD:Analytical Thinking (Cultural Reflections)	2後	2				2					
	LgD:Introduction to Academic English	1前		2								兼1
	LgD:Reading Comprehension	2後		2								兼1
	アカデミック・リーディング I	1前		2		1	4					
	アカデミック・リーディング II	1後		2		1	4					
	アカデミック・リーディング III	2前		2		2	4					
	アカデミック・リーディング IV	2後		2		2	4					
	ゼミナール I	2前		2		2	4					
	ゼミナール II	2後		2		2	4					
	言語基礎論	1前		4		1						兼1
	キャリア・デザイン	1後		2				1				
	キャリア形成 A	2前		2								兼1
	キャリア形成 B	2後		2								兼1
	英語ビジネス・レビュー A	1後		4								兼1
	英語ビジネス・レビュー B	1後		4								兼1
	英語ビジネス・レビュー C	2後		4								兼1
	英語ビジネス・レビュー D	2後		4								兼1
	英語ビジネス・コミュニケーション	3-4前		4			1					
	英語ビジネス・プレゼンテーション	3-4後		2			1					
	英語学複合研究	4後		4		1						
	英語教育学複合研究	4後		4		1						
	英語文学複合研究	4後		4		1						
	グローバル・ビジネス複合研究	4後		4			2					
国際教養複合研究	4後		4		1	1						
英語キャリア卒業研究 I	4前		2		6	6	1					
英語キャリア卒業研究 II	4後		2		6	6	1					
専門研究科目	英語学概論	1後	4			1						
	現代英文法	1後		4		1						
	英語学研究 A	2前		4		1						兼1
	英語学研究 B	2後		4								
	英語教育学	2後		4		1						
	応用言語学	3-4前		4		1						
	英語科教育法 I	2前		4								兼1
	英語科教育法 II	2後		4								兼1
	英語科教育法	3-4前		4		1						
	英語文学概論	2後		4		1						
	英語文学作品研究	3-4前		4		1						
	英語演習 A	1前		4								兼1
	英語演習 B	1後		4								兼1
	日本語学概論	2前		4								兼1
	日本語学 I	2前		4								兼1
	日本語学 II	2後		4								兼1
	日本語教育法 I	3-4前		4								兼2 オムバス
日本語教育法 II	3-4後		4								兼2 オムバス	
日本学 A	2前		4								兼1-2	
日本学 B	2後		4								兼1	

平成25年4月よりアンドレ・ル・グワコ兼担(講師)を専任(講師)へ変更  
平成25年1月 AC教員審査済(25) 判定可

教育効果を高めるため、兼任教員による  
オール英語の授業クラスを追加開講(26)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 研究 科目	ミクロ経済学	1後		4		1	1					
	マクロ経済学	2前		4		1	1					
	イントロダクション経済学	1前		2							兼2	オムニバス
	経営学概論	1前		4			1					
	会計学Ⅰ	1後		4			1					
	会計学Ⅱ	2前		4			1					
	ビジネス統計	1後		2							兼1	
	ビジネス数学	1前		2			1					
	金融論	2後		4		1						
	マーケティング論	2前		4			1					
	ファイナンス	3・4前		4		1						
	国際経済学	3・4後		4							兼1	
	国際経営論	3・4前		4							兼1	
	流通システム論	3・4後		4			1					
	国際関係論Ⅰ	1前		4			1				兼1	
	国際関係論Ⅱ	1後		4			1				兼1	
	情報システム概論	1前		2							兼1	
	地域研究A(欧米)	2前		4		1						
	地域研究B(アジア)	2休		4							兼1	集中
	異文化と歴史A	1後		4							兼1	
	異文化と歴史B	1前		4							兼1	
	国際開発論	2後		4							兼1	
	社会学	2前		4			1					
	比較社会論	2後		4			1					
	国際機構論	3・4前		4							兼1	
	比較文化研究	3・4後		4							兼1・2	教育効果を高めるため、兼任教員による オール英語の授業クラスを追加(26)
	国際労働関係法	3・4前		4		1						
	航空概論	3・4後		4		1						
	エアポート論	3・4前		4							兼1	
	ホテル学	3・4後		4							兼1	
	ホスピタリティ	3・4前		4		1						
	ツーリズム	3・4後		4		1						
	海外事情研究A	1・2・3・4		4							※1	
	海外事情研究B	1・2・3・4		4							※1	
	海外事情研究C	1・2・3・4		4							※1	
	海外事情研究D	1・2・3・4		4							※1	
	海外事情研究E	1・2・3・4		4							※1	
	異文化マネジメントA	2・3・4		4							※1	
	異文化マネジメントB	2・3・4		4							※1	
	異文化マネジメントC	2・3・4		4							※1	
	異文化マネジメントD	2・3・4		4							※1	
	異文化マネジメントE	2・3・4		4							※1	
	英語学研究C	3・4		4							※1	
	英語学研究D	3・4		4							※1	
	英語学研究E	3・4		4							※1	
	英語学研究F	3・4		4							※1	
	英語学研究G	3・4		4							※1	
英語学研究H	3・4		2							※1		
英語学研究I	3・4		2							※1		
英語教育学研究A	3・4		4							※1		
英語教育学研究B	3・4		4							※1		
英語教育学研究C	3・4		4							※1		
英語教育学研究D	3・4		4							※1		
英語教育学研究E	3・4		4							※1		
英語文学研究A	3・4		4							※1		
英語文学研究B	3・4		4							※1		
英語文学研究C	3・4		4							※1		
英語文学研究D	3・4		4							※1		
英語文学研究E	3・4		4							※1		
グローバル・ビジネス研究A	3・4		4							※1		
グローバル・ビジネス研究B	3・4		4							※1		
グローバル・ビジネス研究C	3・4		4							※1		
グローバル・ビジネス研究D	3・4		4							※1		
グローバル・ビジネス研究E	3・4		4							※1		
国際教養研究A	3・4		4							※1		
国際教養研究B	3・4		4							※1		
国際教養研究C	3・4		4							※1		
国際教養研究D	3・4		4							※1		
国際教養研究E	3・4		4							※1		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 初等 教育 科目	教職概論(小)	1前		2			1							
	教育基礎論(小)	1前		2								兼1		
	教育心理学(小)	1前		2				1						
	教育制度概論(小)	2前		2								兼1		
	教育課程の意義と編成(小)	2前		1								兼1		
	道德教育の理論と実践(小)	1後		2			1							
	特別活動の理論と実践(小)	3前		2								兼1		
	教育方法の理論と実践(小)	3前		2			1	1				ホームパス		
	生徒指導論(小)	3前		2			1							
	教育相談(小)	2後		2				1						
	教育実習(小)	3後		5			1	1						
	教職実践演習(小)	4後		2			1	1						
	国語	1前		2			1							
	社会	2前		2			1							
	算数	1前		2			1							
	理科	2前		2			1							
	生活	2前		2				1						
	音楽	2前		2			1							
	音楽実技演習A	3前		2			1							
	音楽実技演習B	3後		2			1							
	図画工作	1前		2								兼1		
	家庭	3前		2								兼1		
	体育	3前		2				1						
	国語科指導法	1後		2								兼1・2		教育効果を高めるため、兼任教員による授業がスを追加開講(26)
	社会科指導法	2後		2			1							
	算数科指導法	1後		2								兼2		
	理科指導法	2後		2								兼1		
	生活科指導法	2後		2				1						
	音楽科指導法	2後		2			1					兼1		
	図画工作科指導法	1後		2								兼1		
	家庭科指導法	3後		2								兼1		
	体育科指導法	3後		2								兼1		
	学校教育基礎論	1後		2				1						
	グローバル教育論	1後		2								兼1		
	小学校英語教育実践	3前		2			1							
	安全・安心な学校生活の形成	2前		2			1							
	渡日外国人児童教育	3後		2			1							
	教育史	1前		2								兼1		
	教育哲学	1後		2			1							
	教育方法学	2後		2				1						
教育行政学	2後		2			1								
学校・学級マネジメント	2前		2			1								
教育法規	2後		2			1								
道德教育実践研究	3前		2			1								
教育心理学研究	3後		2				1							
教育学演習A	3前		2				1							
教育学演習B	3後		2				1							
教育学演習C	3前		2			1								
教育学演習D	3後		2			1								
教養 教育 科目	スペイン語	2前		4								兼1		
	中国語	2前		4								兼1		
	フランス語	2前		4								兼1		
	イタリア語	2前		4								兼1		
	ハンガール	2前		4								兼1		
	哲学	3・4後		4								兼1・2		教育効果を高めるため、兼任教員によるオール英語の授業がスを追加(26)
	心理学	3・4前		4								兼1		
	芸術史	3・4前		4								兼1		
	人権問題論	3・4前		4								兼1		
	憲法	3・4後		4								兼1		
	環境科学	3・4前		4								兼1		
	スポーツ健康科学	3・4後		2								兼1		
	情報機器実習	1通		2								兼1		
	総合科目A	3・4前		4								兼1・2		教育効果を高めるため、兼任教員によるオール英語の授業がさを追加(26)
	総合科目B	3・4後		4								兼1		
	総合科目C	3・4前		4								兼1		
	総合科目D	3・4後		4								兼1		
総合実習A(インターンシップ)	2・3・4		2			1					※2			
総合実習B(インターンシップ)	2・3・4		2			1					※2			
総合実習C(ボランティア)	2・3・4		2								※2			
総合実習D(ボランティア)	2・3・4		2								※2			
海外フィールド・スタディA	2・3・4		2								※1			
海外フィールド・スタディB	2・3・4		4								※1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職に関する科目	教職概論	1前・後			2	2						兼3 集中1 兼1 兼2 兼3 兼1 兼1 兼3 兼3 2 兼2 集中1 兼1 兼1 兼2
	教育基礎論	1前・後・休			2							
	教育心理学	1前・後			2		1					
	教育制度概論	2前・後			2	1						
	英語科教育法Ⅰ	3前・後			4							
	英語科教育法Ⅱ	3後			4							
	道德教育の理論と実践	2前・後			2	1						
	特別活動の理論と実践	3前・後			2							
	教育方法の理論と実践	3前・後			4	1						
	生徒指導論	3前・後・休			2	1						
	教育相談	2前・後			2		1					
	教育実習Ⅰ	4通			5							
	教育実習Ⅱ	4通			3							
	教職実践演習(中・高)	4後			2	2						
日本に関する科目 日本語教員養成	日本語教育実習演習	4後			2						兼1	
	日本語教育実習	4後			2						兼1	
図書館司書に関する科目	生涯学習概論	1前・後			2						兼1	
	図書館概論	1前・後			2						兼1	
	図書館制度・経営論	2前・後			2						兼1	
	図書館情報技術論	2前・後			2						兼1	
	図書館サービス概論	1前・後			2						兼2	
	情報サービス論	2前・後			2						兼2	
	児童サービス論	2前・後			2						兼2	
	情報サービス演習A	3前・後			1						兼2	
	情報サービス演習B	3前・後			1						兼2	
	図書館情報資源概論	2前・後			2						兼1	
	情報資源組織論	1前・後			2						兼2	
	情報資源組織演習A	2前・後			1						兼2	
	情報資源組織演習B	2前・後			1						兼2	
	図書館基礎特論	3前・後			1						兼2	
図書館情報資源特論	3前・後			1						兼2		
図書・図書館史	3休			1						兼1 2 集中		
司書に関する科目	学校経営と学校図書館	3前			2						兼2 専攻バ	
	学校図書館メディアの構成	2後			2						兼1	
	学習指導と学校図書館	3後			2						兼2 専攻バ	
	読書と豊かな人間性	2前			2						兼1	
	情報メディアの活用	2後			2						兼1	

兼任教員退職のため、当該科目を担当する  
兼任教員の担当授業が7を追加することで  
補充(26)

教育効果を高めるため、兼任教員による  
担当授業が7を追加(26)

備考※1: 留学中の学修等について単位認定を行う科目

備考※2: 国内外のインターンシップやボランティア活動における学修について単位認定を行う科目

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 9	科目 185	科目 37	科目 231	科目 9	科目 185	科目 37	科目 231	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	中宮キャンパス全体 関西外国語大学短期大学部と共用  ・駐車場増設に伴う校舎敷地、運動 場用地の面積変更(26)			
	校舎敷地	0 m <sup>2</sup>	166,301.14 <del>165,110.86</del> m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	166,301.14 <del>165,110.86</del> m <sup>2</sup>				
	運動場用地	0 m <sup>2</sup>	57,609.25 <del>58,799.53</del> m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	57,609.25 <del>58,799.53</del> m <sup>2</sup>				
	小 計	0 m <sup>2</sup>	223,910.39 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	223,910.39 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	10,502.19 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	10,502.19 m <sup>2</sup>				
	合 計	0 m <sup>2</sup>	234,412.58 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	234,412.58 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	中宮キャンパス全体  ・7号館完成後の登記により面積変更 (26)				
	21,216.77 m <sup>2</sup> ( 21,216.77 m <sup>2</sup> )	55,956.80 <del>57,509.46</del> m <sup>2</sup> ( 44,930.45 m <sup>2</sup> )	5,990.18 m <sup>2</sup> ( 5,990.18 m <sup>2</sup> )	83,163.75 <del>84,716.41</del> m <sup>2</sup> ( 72,137.40 m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	中宮キャンパス全体  ・7号館新設に伴う増(26)			
	132 105 室	101 89 室	10 室	9 室 (補助職員 0 人)	14 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任1人補充による増 (25) 平成25年1月AC教員審査済			
	英語キャリア学部 英語キャリア学科		-29- 30 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌、視聴覚資料購入による 増 (25) (26)	
	英語キャリア学部	167,832[94,803] <del>(166,681[94,187])</del> <del>(166,067[93,751])</del> <del>(165,767[93,751])</del>	410[250] <del>(373[240])</del> <del>(373[239])</del> <del>(374[239])</del>	7,100 [7,000] <del>(4,715[4,117])</del> <del>(4,191[4,138])</del> <del>(3,551[3,498])</del>	15,560 <del>(13,232)</del> <del>(12,785)</del> <del>(12,507)</del>	259 <del>(208)</del> <del>(222)</del>	( 0)		
	計	167,832[94,803] <del>(166,681[94,187])</del> <del>(166,067[93,751])</del> <del>(165,767[93,751])</del>	410 [250] <del>(373[240])</del> <del>(373[239])</del> <del>(374[239])</del>	7,100[7,000] <del>(4,715[4,117])</del> <del>(4,191[4,138])</del> <del>(3,551[3,498])</del>	15,560 <del>(13,232)</del> <del>(12,785)</del> <del>(12,507)</del>	259 <del>(208)</del> <del>(222)</del>	( 0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	中宮キャンパス全体					
	12,850 m <sup>2</sup>	1,345 1,230	942,000	図書館レイアウト変更により 閲覧席増 (25)					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	14,453.63 m <sup>2</sup>	テ ニ ス コ ー ト ア ー チェリ ー 練 習 場							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	7,033千円	1,186千円	1,086千円	
	共同研究費等	2,500千円	2,500千円	設備購入費	13,969千円	8,577千円	0千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,270千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	関西外国語大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
英語キャリア学部 英語キャリア学科	4	—	—	—	学士(英語キャリア)	—	平成23年度	大阪府枚方市中宮 東之町16-1	平成25年4月より 学生募集停止
外国語学部 英米語学科	4	1,170	3年次 300	5,340	学士(英語学)	1.12	昭和41年度	大阪府枚方市中宮 東之町16-1	平成25年4月より 入学定員変更 1,200人→1,170人 (△30人)
スペイン語学科	4	250	3年次 25	1,050	学士(スペイン語学)	1.16	昭和41年度	同上	
英語国際学部 英語国際学科	4	700	3年次 100	700	学士(英語国際)	1.10	平成26年度	大阪府枚方市穂谷 1-10-1	
国際言語学部 国際言語コミュニ ケーション学科	4	—	—	—	学士(国際言語コミュ ニケーション学)	—	平成8年度	同上	平成26年4月(3年次 編入学は平成28年 4月)より学生募集停止
大学院 外国語学研究科 博士前期課程 英語学専攻	2	15	—	30	修士(英語学)(英語 教育)	0.19	昭和48年度	大阪府枚方市中宮 東之町16-1	
言語文化専攻	2	20	—	40	修士(言語文化)(日 本語学)(英語ビジネ ス・コミュニケーション)	0.35	昭和51年度	同上	
博士後期課程 英語学専攻	3	3	—	9	博士(英語学)(英語 教育)	0.11	昭和54年度	同上	
言語文化専攻	3	3	—	9	博士(言語学)(言語文 化)(日本語学)(文化 人類学)(比較文化学)	0.44	昭和54年度	同上	
大学の名称	関西外国語大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
英米語学科	2	800	—	1,600	短期大学士(英語学)	1.21	昭和28年度	大阪府枚方市中宮 東之町16-1	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	アンドレアス スヴラコフ Andreas Svrakov	平成24年4月	LgD:Argument & Persuasion I (Media Influences) LgD:Argument & Persuasion II (Presentations)	専任	講師	アンドレアス スヴラコフ Andreas Svrakov	平成25年4月	LgD:Argument & Persuasion I (Media Influences) LgD:Argument & Persuasion II (Presentations)	兼任(講師)から専任(講師)へ変更(25) 平成25年1月 AC教員審査済
兼任	教授	田中 克之	平成25年4月	国際機構論	兼任	講師	市原 麻衣子	平成25年4月	国際関係論Ⅱ 国際機構論	教育効果を高めるため、0-9英語の授業7/25を追加(25)
兼任	講師	金 ゼンマ	平成24年4月	国際関係論Ⅱ						
					兼任	講師	中川 真由美	平成26年4月	総合科目A	教育効果を高めるため、0-9英語の授業7/25を追加(26)
兼任	教授	加藤 謙	平成25年9月	総合科目B	兼任	講師	中川 真由美	平成26年4月	総合科目B	退職に伴い、0-9英語の授業7/25へ担当者変更(26)
					兼任	講師	ジョン シュルツ John Shultz	平成25年9月	日本学A 哲学 比較文化研究	教育効果を高めるため、0-9英語の授業7/25を追加(26)
兼任	准教授	田村 直樹	平成23年9月	ビジネス統計	兼任	准教授	北尾 信夫	平成25年9月	ビジネス統計	前任者の健康上の理由により、平成25年9月から担当者を変更(26)
				国際経営論	兼任	教授	金城 亜紀	平成26年4月	国際経営論	前任者の健康上の理由により、担当者を変更(26)
					兼任	講師	塚田 泰彦	平成26年9月	国語科指導法	教育効果を高めるため、授業7/25を追加開講(26)

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	網倉 尚武	平成26年4月	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	兼任	教授	角野 茂樹	平成24年4月	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	就任辞退に伴い、兼任教員へ担当者変更(25)
				教職実践演習(中・高)	兼任	講師	山元 行博	平成26年4月	教職実践演習(中・高)	就任辞退に伴い、兼任教員へ担当者変更(25)
兼任	講師	青木 貞子	平成25年4月	教育方法の理論と実践	兼任	教授	並松 善秋	平成25年4月	教育方法の理論と実践	退職(平成25年9月)に伴い、当該科目を担当する兼任教員の担当授業7/25を追加することで補充(26)
					兼任	教授	細戸 康治	平成26年4月	図書・図書館史	図書館図書購置の充実を図るため、兼任教員による担当授業7/25を追加(26)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
15	12	2	0	29	15	12	3	0	30	65	8
( 15 )	( 12 )	( 2 )	( 0 )	( 29 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 該当なし

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年1月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (25年5月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (26年2月)	英語キャリア学部英語キャリア学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。		<p>【現状】 定年規程の定める退職年齢を超える専任教員数の割合は、開設年度は23.3%、2年次は26.7%、3年次は36.7%、完成年次は33.3%と推移する。</p> <p>【改善方策】 ①理事長、学長のリーダーシップの下、人事委員会の下にワーキング・グループを設け、教員組織編成のあり方、将来構想などを検討し、平成26年6月を目途に方向性をまとめる。 ②当該ワーキング・グループでの検討結果を基に、教員リクルーティングに際しては、定年規程の趣旨を踏まえつつ、人的ネットワーク、インターネット等を介した幅広い募集活動を早期に展開し、優秀な人材の確保に努めることにより、平成29年度までには定年年齢を超える専任教員数の割合を20%以下にすることを目標とする。</p> <p>(26)</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

<英語キャリア学部 英語キャリア学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>大学全体の教育活動の質的向上・発展を図ることを目的として、平成20年度から「ファカルティ・デベロップメント(FD)委員会」を設置している。構成員は、委員長、教務部長、学長が委嘱する委員(外国人教員含む)、事務局長等の関係職員など、総勢32人で活動を展開している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>年間5回程度開催している。委員は出席を義務付けられており、出張や学内会議等の公務による理由以外は、毎回ほぼ全員が出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容・方法の改善のための方針決定に関する事項</li> <li>・ 研修会及び講習会等の開催に関する事項</li> <li>・ 学生による授業評価(コース・エヴァリュエーション)に関する事項</li> <li>・ FDに関する報告書等の作成に関する事項</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD授業公開の実施</li> <li>・ FD教員研修会の開催</li> <li>・ FD授業改善アンケートの実施</li> <li>・ FDワークショップの開催</li> <li>・ FD講演会の開催</li> <li>・ FDカフェの開催</li> <li>・ FD授業実践研究フォーラムの開催</li> <li>・ FDシンポジウムの開催</li> <li>・ 機関紙『FD Newsletter』の発行</li> <li>・ 機関誌『高等教育研究論集』の刊行</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## b 実施方法

- ・ FD授業公開の実施(年間2回)  
春・秋学期に各2か月間の授業公開期間を設け、全学部全授業を対象とした教員の相互授業参観を行っている。授業者は、参観者からの建設的なコメント(フィードバック)を自分の授業に反映させる。同時に、参観者は、授業者の教授法を自らの授業の参考にしている。
- ・ FD教員研修会の開催(年間1回)  
当該年度着任の教員を主な対象に、より魅力ある授業を目指し、授業経験豊富な教員の授業実践報告・議論を通じて、授業の質の向上を図っている。
- ・ FD授業改善アンケートの実施(年間2回)  
学生による授業評価を自らの授業改善にどのように活かしているかについて、年間2回のアンケートを実施している。アンケート分析結果は、機関紙『FD Newsletter』を通じて全教職員に周知している。
- ・ FDワークショップの開催(年間1回)  
FD委員会が推薦する教員が、単独又は複数で「私の授業実践」や「私の授業改善の試み」といったテーマで発表し、その内容について出席者同士で意見交換する。
- ・ FD講演会の開催(年間1回)  
学外の専門家や実務家を招き、外部から見た本学に求められる教育研究活動等、FDの形骸化を防ぎ、推進に寄与するテーマを設定、講演・質疑応答を通じて授業改善を図る。
- ・ FDカフェの開催(年間3回)  
学内の教員が、教育・授業、学問・研究、あるいは人生観など自由に話し、参加者と懇談する。学生も参加可能で、教員と学生とが、専門的な事項について活発かつ自由に議論し、教員・学生協働で授業改善を図る。
- ・ FD授業実践研究フォーラムの開催(年間1回)  
全学的に発表者を公募し、応募教員一人当たり30分の持ち時間で教育実践を中心とした高等教育に関するテーマについて学会形式で発表を行うもので、教員同士の知見・経験を共有し、教育力の向上を目指す。
- ・ FDシンポジウムの開催(年間1回)  
ひとつの統一テーマのもとに、複数教員による特定の教育プログラムの実践例について報告会を行い、フロアとの質疑応答を通じて授業改善の方法を探る。テーマ及び発表者は公募する。
- ・ 機関紙『FD Newsletter』の発行(年間4回)  
FD委員会の活動方針・予定、教員の参加状況・コメント、各プログラムの実施報告等を掲載した機関紙を発行。全教職員に配付。紙面は日英両語で併記され、約200人の外国人教員とも情報の共有を図っている。
- ・ 機関誌『高等教育研究論集』の刊行(年間1回)  
本学教員の教育実践に係る論文等の投稿を募集し、FD委員会が査読を行い掲載の可否を判断する。併せて、FD委員会が企画・実施したFD活動記録も含めて編纂し、全教職員に配付する。
- ・ FD委員会所管外の活動  
新任教員ガイダンス(教務委員会主催、年1回)、人権問題研究会(人権教育思想研究所主催、年1回)、人権問題学習会(人権教育思想研究所主催、年1回)、新任教職員人権問題研修会(人権教育思想研究所主催、年1回)、オール英語による授業のための米国大学におけるFD研修(米国ウィスコンシン大学と共催、年1回)などを実施している。  
このほか、FD委員を中心に外部の研究会等にも積極的に参加し、他大学の最新の取組状況や関係学会等における研究成果の吸収を図っている。

## c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・ FD授業公開の実施  
平成25年度は春学期(5月1日～6月29日)と秋学期(11月1日～12月24日)にそれぞれ2か月間実施し、春学期は91人、秋学期は62人の授業参観の申込があった。
- ・ FD新任教員研修会の開催  
平成25年度は、5月11日(土)午後開催し、新任教員16人を含む50人の参加があった。
- ・ FD授業改善アンケートの実施  
平成25年度は、春学期(5月13日～18日)と秋学期(9月30日～10月5日)の2回実施。春学期は501人(全教員の89%)、秋学期は477人(全教員の84%)からの回答(回収率)を得た。
- ・ FDワークショップの開催  
平成25年度は、7月25日(木)に2名の教員によるワークショップを開催し、それぞれ「言語技能の授業において[不快]を創出することについて」「まずは[水飲み場]へ誘う努力から」のテーマで約50人の参加があった。
- ・ FD講演会の開催  
平成25年度が第4回目となる。9月10日(火)に開催し、「大学教育の質保証に向けて」のテーマで、約50人の参加があった。

- ・ FDカフェの開催  
平成25年度から新規開催となったFDカフェは、第1回目を10月31日(木)[43名出席]、第2回目を11月28日(木)[26名出席]、第3回目を12月19日(木)[24名出席]に行い、それぞれ「私の教師論」、「日本語と中国語の比較・対照をめぐって」、「私と日本語文法研究」と題し、意見交換を行った。
- ・ FD授業実践研究フォーラムの開催  
平成25年度が第3回目となるフォーラムを1月7日(火)に開催。発表者34人(うち外国人9人)から授業実践に関する取組みが報告され、118人の参加があった。
- ・ FDシンポジウムの開催  
平成25年度が第6回となる。2月3日(月)に開催し、「論理的・批判的に読む力の育成を目指して」のテーマで講演を行い、パネルディスカッションも行った。出席者は約60人であった。
- ・ 機関紙『FD Newsletter』の発行  
平成25年度は、6月号(第22号)、10月号(第23号)、1月号(第24号)、3月号(第25号)の4回発行。
- ・ 機関誌『高等教育研究論集』の刊行  
平成25年度が第3号となる当該論集には7人の教育実践に係る論文投稿があり、第3回FD授業実践フォーラムのプロシーディングズや平成24年度のFD活動記録も併せて掲載、刊行した。
- ・ FD委員会所管外の活動
  - \* 新任教員ガイダンス 平成26年3月31日(月)実施、97人出席。
  - \* 人権問題研究会 平成25年6月28日(金)実施、24人出席。
  - \* 人権問題学習会 平成25年11月22日(金)実施、58人出席。
  - \* 新任教職員人権問題研修会 平成25年5月20日(月)・22日(水)実施、41人出席。
  - \* 米国ウィスコンシン大学におけるFD研修 平成26年2月10日(月)～2月20日(木)実施、5人参加。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

こうした年間を通じた組織的・全学的FD活動を踏まえ、外国語教育を中心に、幅広い分野で実践的な授業改善に取組んでいる。その結果は、年2回実施している学生による授業評価において、総合満足度が平成24年度春学期74%・秋学期75%、平成25年度春学期75%・秋学期78%と高い比率を維持するなど、成果を上げている。

今後は、これまでの教育改善を主な目的としたFD活動に加えて、厳格な成績評価へ向けてのGPA制度の導入や科目・教員間のより積極的なコーディネートについて検討を深めることにより、FDの実質化を推進する。

英語キャリア学科では、これらのFD活動のほか、新入生受け入れ直後から、3アドバイザー(アカデミック・アドバイザー、スタディアブロード・アドバイザー、キャリア・アドバイザー)による学生指導方針、指導分担、学生の学修進捗度等について情報交換会を行っている。(平成24年6月、11月、平成25年5月、11月)

特に、指導の中心的存在となる専任教員(アカデミック・アドバイザー)12人が中心となって、授業登録に係るオリエンテーションのほかに、当該学部の特徴、学修分野の説明、学修方法等についてのガイダンスや、クラス別懇談会を行っている。(平成25年3月、9月、平成26年1月)

本学部が原則として3年次に1年間の専門留学に派遣されることが前提となっていることから、留学派遣に係る資格審査へ向けての学修指導、審査基準の設定、資格審査実施など、アカデミック・アドバイザーとスタディアブロード・アドバイザーが入念な打合せを行い、キャリア・アドバイザーとも情報を共有しながら全学的・組織的に指導を行っている。

キャリア・アドバイザーは、1回生の早期の段階からキャリアへの気づきを促すため、講演会、各種ワークショップ、個別面談等を年間を通じて実施し、学生の傾向や志向性について他のアドバイザーへフィードバックを行っている。

英語キャリア学科小学校教員コースでは、教員間の綿密なコミュニケーションを図り、「英語が使える小学校教員」の育成に向け、学生の指導力強化に努めている。新入生全員が参加する1泊2日の合宿や、小学校の授業見学および授業補助を通じて見えてくる、学生個々のモチベーションや意識について情報共有し、今後の指導方法について検討を行っている。

今後もこうした取組を継続的にを行い、教員の資質維持・向上はもちろん、さらなる授業科目間のコーディネートや授業間での情報共有・連携強化に取組んでいく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年に2回、学期ごとに、全開講科目の履修者を対象とし、実施している。平成25年度は、春学期(7月16日～7月22日)、秋学期(12月18日～12月24日)に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生による授業評価は、各学期終了後に集計結果を担当教員本人へフィードバックしている。また、授業評価の集計結果は、教員別・科目別にまとめて冊子とし、図書館に備え付けて、教職員および学生に公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・全般的に概ね計画どおりに進行している。

##### <英語キャリア学科>

- ・入学者は、平成25年度124人(志願者2,039人)、平成26年度128人(志願者1,946人)と順調かつ適切に確保している。
- ・学生の学修進捗状況について、平成25年度入学生の英語力は、入学時のTOEFL(PBT)の平均点473点が、平成26年4月では505点と30点以上の伸びを示しており、教育効果は着実に上がっている。2年目となる平成26年度は、留学へ向けて本格的な準備段階となるため、英語力の更なる強化と専門領域との複合学修に関してより一層の指導の徹底を図る。
- ・3年次からの専門留学へ向けて、1・2年次の間に留学資格審査を4回実施することとなっており、筆記・面接試験、単位修得・出席状況等を踏まえ、留学に耐えうる学力の正確な把握に努めるとともに、留学候補となった学生への留学準備教育と、留学先の履修・学修方法について、設置計画どおり適切に指導を行う。
- ・3アドバイザーは、英語キャリア学科全体の学修指導方針や、学生一人ひとりの学力や就学状況について相互に確認を行いつつ、適切に指導を行っており、今後もこの体制を維持・強化していく。

##### <英語キャリア学科小学校教員コース>

- ・入学者は、平成25年度29人(志願者357人)、平成26年度35人(志願者296人)と順調かつ適切に確保している。
- ・学生の学修進捗状況について、平成25年度入学生の英語力は、入学時のTOEFL(PBT)の平均点428点が、平成25年12月では450点と20点以上の伸びを示しており、教育効果は着実に上がっている。
- ・英語キャリア学科小学校教員コースでは、毎月1回の小学校教員コース教員会議で連絡・協議を重ね、きめ細やかな就学支援を行っている。
- ・1期生には、2年次から本学が実施しているボランティア活動に、自主的・積極的に参加するよう指導している。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表(予定)時期

- ・平成28年6月末日 公表予定

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定(平成28年6月末を予定)

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成24年度に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受審し、適合認定を受けた。認定期間は、平成25年4月1日から平成32年3月31日までの7年間である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

( 有 ・ 無 )

##### b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

( 平成26年 6月 末日 )

平成 23 年度に設置した「文学、経済学」を学位の分野とする英語キャリア学部英語キャリア学科（平成 22 年 10 月認可・平成 25 年 4 月より学生募集停止）では、認可時に「3 年次から全員留学させる本学科の趣旨に鑑み、教職や図書館司書教諭など多様な資格の取得や留学先の授業の開講時期の違い等に支障なく対応できるように、学生に対して適切な履修指導を行うこと」との留意事項が付されました。

平成 25 年度に新たに設置した「文学、教育学・保育学、経済学」を学位の分野とする英語キャリア学部英語キャリア学科（平成 24 年 11 月届出）では、設置時に同様の留意事項は付されていませんが、趣旨をふまえ、対応状況に係る参考資料を以下添付します。

## 資料一覧

### <英語キャリア学科>

- 資料 1 (1) 履修マニュアル (1 年 春学期)
- 資料 1 (2) 履修マニュアル (2 年 春学期)
- 資料 1 (3) 履修規程の変更について
- 資料 2 (1) 教職課程からの履修のお知らせ (学部)
- 資料 2 (2) 教職課程ハンドブック
- 資料 2 (3) 「学部 2 年で『成す・為す』べき事」
- 資料 3 3 アドバイザー年間スケジュールについて
- 資料 3 (1) 英語キャリア学科 3 アドバイザー情報交換会 (平成 25 年 5 月 23 日)
- 資料 3 (2) 英語キャリア学科 3 アドバイザー情報交換会 (平成 25 年 10 月 17 日)
- 資料 4 (1) 『新入生「学び」のガイダンス』および『第 1 回クラス別懇談会』実施について
- 資料 4 (2) 『第 2 回アドバイザー懇談会』実施について
- 資料 4 (3) 『第 3 回アドバイザー懇談会』実施について
- 資料 5 新入生留学・キャリアガイダンス

### <英語キャリア学科小学校教員コース>

- 資料 6 (1) 履修マニュアル (1 年 春学期)
- 資料 6 (2) 履修マニュアル (2 年 春学期)
- 資料 6 (3) 履修規程の変更について
- 資料 7 小学校教員コース 2 年次教育実習ガイダンス
- 資料 8 (1) 第 1 回アドバイザー懇談会実施について
- 資料 8 (2) 第 2 回アドバイザー懇談会実施について
- 資料 8 (3) 第 3 回アドバイザー懇談会実施について
- 資料 9 平成 25 年度英語キャリア学部小学校教員コース新入生合宿要項

### <共通>

- 資料 1 0 司書課程ガイダンス
- 資料 1 1 司書教諭ガイダンス
- 資料 1 2 関西外国語大学ファカルティ・デベロップメント (FD) 委員会規程